

ARIBからのお知らせ

第75回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第75回規格会議を開催します。  
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成21年12月16日(水) 午後1時から3時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル35階)  
東京都千代田区霞が関3- 2- 5
- 3 議題 (予定)
  - (1) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料の改定について
  - (2) IMT-2000 MC-CDMA System標準規格及び技術資料の改定について
  - (3) OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS)標準規格の改定について
  - (4) 光無線LANシステム標準規格の改定について
  - (5) 第二世代小電力データ通信システム/ワイヤレスLANシステム標準規格の改定について
  - (6) 特定小電力無線局150MHz帯動物検知通報システム用無線局の無線設備標準規格の改定について
  - (7) 小電力無線局解説書技術資料の策定について
  - (8) 構内無線局19GHz帯データ伝送用無線設備標準規格の廃止について
  - (9) CSデジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について
  - (10) デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定について
  - (11) 地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格の改定について
  - (12) デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定について
  - (13) 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定について
  - (14) BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料の改定について
  - (15) その他

## 第156回業務委員会を開催

第156回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成21年11月11日(水) 午後2時00分～3時55分
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
  - (1) 一般社団法人への移行の認可申請についての説明がありました。
  - (2) 携帯端末向けマルチメディア放送関連作業班の新設についての報告がありました。
  - (3) IMT-Advanced無線インタフェースに関する候補技術提案についての報告がありました。
  - (4) インドGISFIとのLoI締結についての報告がありました。
  - (5) 欧州ETSIとITS分野におけるLoI締結についての報告がありました。
  - (6) 平成21年度総務省所管補正予算の見直し及び平成22年度総務省所管予算概算要求の概要についての説明がありました。

## 総務省からのお知らせ

特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案に係る意見募集  
デジタル簡易無線局、特定小電力無線局(動物検知通報システム)、2.4GHz高度化  
小電力データ通信システム(模型飛行機の無線操縦用)の試験方法の追加等

【平成21年11月13日の総務省報道資料から】

総務省は、平成16年総務省告示第88号(特性試験の試験方法を定める件)の一部を改正する告示案(以下「告示案」といいます。)を作成しました。

つきましては、告示案について、平成21年11月13日(金)から同年12月14日(月)までの間、意見を募集します。

### 1 改正の背景

無線設備規則(昭和25年電波監理委員会規則第18号)、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(昭和56年郵政省令第37号。以下「証明規則」といいます。)等が改正され、デジタル簡易無線局、デジタル簡易無線局(キャリアセンスを備え付けているもの)、特定小電力無線局(動物検知通報システム)、2.4GHz高度化小電力データ通信システム(模型飛行機の無線操縦用)及び2.4GHz小電力データ通信システム(模型飛行機の無線操縦用)が導入等されたことに伴い、証明規則別表第1号1(3)の規定に基づき、平成16年総務省告示第88号(特性試験の試験方法を定める件)の一部を改正することとしました。

## 2 告示案の概要

平成16年総務省告示第88号について、次の(1)から(5)までを新たに追加します。また、現行の別表第17(小エリア簡易無線局の試験方法)は、当該無線局の無線設備が証明規則から除かれたため削除します。

(1) デジタル簡易無線局

【証明規則第2条第1項第4号の5】

(2) デジタル簡易無線局(キャリアセンスを備え付けているもの)

【証明規則第2条第1項第4号の6】

(3) 特定小電力無線局(動物検知通報システム)

【証明規則第2条第1項第8号】

(4) 2.4GHz高度化小電力データ通信システム(模型飛行機の無線操縦用)

【証明規則第2条第1項第19号の2の2】

(5) 2.4GHz小電力データ通信システム(模型飛行機の無線操縦用)

【証明規則第2条第1項第19号の2の3】

## 3 意見募集対象等

意見募集対象：特性試験の試験方法を定める件の一部を改正する告示案

<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000043968.pdf#2](http://www.soumu.go.jp/main_content/000043968.pdf#2)>

意見募集締切：平成21年12月14日(月)午後5時(必着)

(ただし、郵送については、平成21年12月14日(月)付けの消印まで有効とします。)

詳細については、別紙の意見公募要領

<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000043981.pdf#2](http://www.soumu.go.jp/main_content/000043981.pdf#2)>を御覧ください。

なお、告示案については、総務省ホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)の

「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口 [e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において閲覧に供することとします。

## 4 今後の予定

寄せられた意見を踏まえ、速やかに公布・施行する予定です。

詳細は、<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02kiban16\\_000012.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kiban16_000012.html)>をご参照下さい。

小電力無線システム委員会 報告(案)に対する意見の募集  
(中出力型950MHz帯パッシブタグシステムの技術的条件等について)

【平成21年11月13日の総務省報道資料から】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 小電力無線システム委員会(主査：森川 博之 東京大学 先端科学技術研究センター教授)は、平成21年7月から中出力型950MHz帯パッシブタグシステムの技術的条件等について審議を行ってまいりました。

このたび、報告(案)(別添

<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000043926.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000043926.pdf)>)を取りまとめましたので、本報告(案)について、平成21年11月13日(金)から同年12月13日(日)までの間、以下の要領で意見を募集いたします。

## 1 意見募集の対象

情報通信審議会 情報通信技術分科会 小電力無線システム委員会 報告(案)

## 2 概要

情報通信審議会 情報通信技術分科会 小電力無線システム委員会は、平成21年7月から、中出力型950MHz帯パッシブタグシステムの技術的条件等について審議を行っており、これまでの審議結果について取りまとめたものです。

なお、「小電力無線システム委員会 報告(案)」は、総務省ホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口(<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡窓口(小電力無線システム委員会事務局)において閲覧に供することとします。

## 3 意見募集の要領

別紙<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/21291.html#bs](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/21291.html#bs)>のとおり

## 4 募集期限

平成21年12月13日(日)午後5時(必着)

## 5 意見提出上の留意点

提出いただいた意見書については、意見、提出者の氏名(法人等にあつてはその名称)、その他の属性に関する情報については、後日公表する場合があります。

また、いただいた意見に対して個別の回答はいたしかねますので、その旨御了承願います。

## 6 今後の予定

意見募集の結果を踏まえ、報告を取りまとめる予定です。

詳細は、<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/21291.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/21291.html)>をご参照下さい。

3年前に自作した自宅のPCが、4月頃から頻繁にクラッシュするようになりました。

原因がハードディスクにあることがわかったので交換用に新しいハードディスクを準備していたのですが、データファイルのフルバックアップ、ハードディスク交換、OS・アプリケーションソフトの再インストール及びデータファイルのリストアの一連の手間を考えると、なかなか交換に踏み切れずにいました。

ハードディスクがいつクラッシュしても不思議はないためデータファイルのバックアップは定期的にとっていたのですが、バックアップから2週間が経過したある日、PCが起動しなくなってしまいました。個人的にかなり重要なデータファイルのバックアップが取られていなかったため、あきらめることができず、家内のPCを借り、ネット検索でPCの修復方法を調べて修復を試み(一筋縄ではいかないほどひどい状態だったようですが)、なんとか起動させることができたので、データファイルをフルバックアップすることができました。

即刻、ハードディスクを交換しましたが、いくら面倒でもデータに関わることに手抜きはいけないと悟りました。ただ、最新の500GBプラッタのハードディスクに交換した結果、PCの起動やアプリケーションの起動が格段に速くなりました。CPUのスペックはARIBで業務に使用しているPCに劣りますが、実使用における体感速度は自宅PCが上回るようになったことが収穫です。

(編集子:PAO)